

2016年1月から2023年12月までに総合内科・高齢診療科 に入院された65歳以上の方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

●研究の名称

高齢入院患者の赤血球容積粒度分布幅（RDW）を用いた、退院転帰の予測

●研究の対象

2016年1月～2023年12月に総合内科・高齢診療科に入院した65歳以上の方

●研究の期間

研究倫理審査委員会承認日から2026年3月まで

●研究の目的

ご高齢になるにつれ、肺炎や尿路感染症、脱水症などの疾患で入院治療が必要になることが増えてきます。加齢とともに治療は長引く傾向があり、疾患の治療が終了したにも関わらず運動機能の低下により入院前の環境に退院出来ない患者さんは20%近くにのぼります。入院時に長い入院となりそうな患者さんの特徴を理解しておくことにより、入院後早くから退院に向けたリハビリテーション開始し、退院後の療養環境を調整することができれば、入院期間の長期化を回避することが可能となります。そこで、これまでにご入院され患者さんの、入院時の併存疾患や認知生活機能、血液検査のデータを過去の診療録から抽出し、退院の転帰（元の居住環境に退院できたか否か）と関連する項目について調査を行います。もとの居住環境に退院できない可能性が高いと判断された患者さんには、入院早期から多職種で退院支援に力を注ぐことを目的としています。

●研究の方法

電子カルテから、研究対象者背景や血液検査データ（赤血球容積粒度分布幅など）、認知生活機能、退院先などについての情報を抽出し、入院前の居住環境に退院できなかった患者さんの特徴について検討します。

研究－参考書式 1

●研究に使用する試料・情報

研究対象者背景（性別、年齢、入院前と退院後の居住・介護環境、入院契機となった疾患、介護食の有無、退院先、入院日数）、認知・生活機能検査（DASC-21、入院時と退院時の Barthel index）、血液生化学的検査（ヘモグロビン、赤血球容積粒度分布幅、末梢血リンパ球絶対数など）

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 研究責任者：高齢診療科 岩切 理歌

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

連絡先：高齢診療科 岩切理歌

電話 03-3964-1141（平日 9：00～17：00）